

## 2019年度春学期研究者交流支援制度による招聘プログラム実施報告書

文学部教授 豊川浩一

招聘者：ニコライ・ニコラエヴィチ・ペトルヒンツェフ

所属機関：ロシア科学アカデミー国民経済・国家勤務研究所リペツク市支部・教授

招聘期間：2019年6月20日（木）～6月29日（土）

講演および学術交流の内容：

現在、世界の近代ロシア史研究をリードする研究者の一人ペトルヒンツェフ氏を迎え、研究者向けの講演を行い、また各方面で学術交流をし、さらには学生に向けた講義を行なった。その内容を時系列的に記すと以下の通りである。

6月20日（木）、日本到着、研究会およびシンポジウムについての打ち合わせ（翌日からの研究会での報告・講演のための具体的な話し合い）を行なう。

6月21日（金）、ロシア研究所（於早稲田大学、主催者：早稲田大学ロシア研究所、依頼者：本プログラム実施者—豊川）で「ドストエフスキーと小説『カラマーゾフの兄弟』の構成の基礎となる神話」（«Достоевский и миф в композиционных основах романа «Братья Карамазовы»）と題する講演を行った。内容は、『カラマーゾフの兄弟』において、いかにドストエフスキーがキリスト教受容以前のロシア固有の時間と空間とを小説に組み込んでいったのかを様々な側面から解説し総合したものである。従来の文学研究には見られない新鮮な研究テーマの展開が見られた。これに対する対論者として、かつて本プログラム実施者が受け入れ教員であった学術振興会特別研究員、そして現在は明治大学学術研究員の金沢友緒氏が発言し報告した。通訳なしで参加者したスラヴ研究者、院生、などが活発に議論した。

6月22日（土）、シンポジウム「ロシアの近代化過程を考察する—ペトルヒンツェフ教授を招聘して」（於明治大学 LT1095、主催者：本プログラム実施者—豊川）で「アレクセイ・ミハイロヴィチとピョートル1世—二つの近代化する軍事改革とロシア社会へのその影響」（«Алексей Михайлович и Петр I: две модернизационные военные реформы и их влияние на русское общество»）と題する講演を行った（ポスターあり）。内容は、ロシアの近代化についての議論は従来ピョートル1世から始まるとされてきたが、これをその父であるアレクセイ帝にまでさかのぼり、具体的にその軍事改革に焦点を当てて論じた。詳細なアレクセイ帝時代の軍事改革の諸相、およびそれによって引き起こされた社会構造の変化について、これまでになくロシア近代化についての新たな視点を提示した。これに合わせて、18世紀ロシア研究者である宮城教育大学の田中良英氏、東京大学の鳥山祐介氏による発表があり、それらを含めて総合討論を行った。本シンポジウムへはロシアの歴史・文学の研究者、院生、などが参加して活発な議論がなされ大変盛況であった。通訳は中神美砂氏に依頼した。

6月23日（日）～25日（火）、授業についての打ち合わせを行う。

6月26日（水）、明治大学で文学部西洋史学専攻の学生を対象とした連続講義を行った。

以下、授業テーマのみを記す。

1 時限目の授業テーマ（和泉キャンパス・図書館ホール、1・2年生対象）：「16世紀中葉～17世紀中葉のロシア国家の統合過程の完成、封土（領地）システムおよびそれに基礎を置く軍事・社会構造の形成」  
«Завершение интеграционных процессов, формирование поместной системы и основанной на ней военной и социальной структуры Российского государства середины XVI – первой половины XVII в.»（通訳は豊川、以下同じ）

2 時限目の授業テーマ（和泉キャンパス・図書館ホール、1・2年生対象）：「中世ロシア人の世界の想像および社会についての観念を表すものとしての16～17世紀初頭のロシア・アイコン」  
«Русская икона XVI – начала XVII в. как отражение образа мира русского средневекового человека и его представлений об обществе».

3・4 時限目の授業のテーマ（駿河台キャンパス・2091教室、3・4年生対象）：「封土（領地）システムの終焉：アレクセイ・ミハイロヴィチ帝の近代的軍事改革とロシア社会の構造的変貌」  
«Закат поместной системы. Модернизационная военная реформа царя Алексея Михайловича и трансформация социальных структур российского общества»

6月27日（木）～28日（金）、今後の研究交流についての打ち合わせを行う。

6月29日（土）、日本出発